

嶺北地域アクションプランの進捗状況等

地域アクションプランの実施状況（総評）

嶺北地域では、核となるプレイヤーが複数の取組を行っている現状に大きな変化は無く、各分野で新しい担い手やリーダーの人材育成が喫緊の課題である。

そのため、各分野ごとの担い手育成の取組に加えて、4町村が連携した観光・交流人口の拡大や移住促進の取組の中で、U・Iターンによる地域外からの担い手確保の取組にも力を入れている。一方で、地域内の人材育成として嶺北高校と連携して将来の担い手の育成にも取り組み、大学進学した卒業生も大学内での活動を通じて、嶺北地域の活性化に繋がっているなど一定の成果も見えてきている。

本年度の嶺北地域の28項目のアクションプランについても、概ね各計画に沿った取組を進めており、各アクションプランとの連携を視野に入れた取組も見られている。

県外の大学等との連携による取組では、交流人口の拡大から地域産品を活用した新たな商品開発・販売に具体的に取り組むなど、所期の目的に向かって進みつつある。また、大阪圏都市部（行政、民間団体）との連携によるインターンシップ研修生の受け入れが定例化し、研修終了後の移住にも繋がりはじめるとともに、この事業で連携してきた企業がシェアオフィスに入居するなど、外部人材を活用した取組も本格化し、人的・物的交流のさらなる広がりも期待を抱かせるものとなっている。